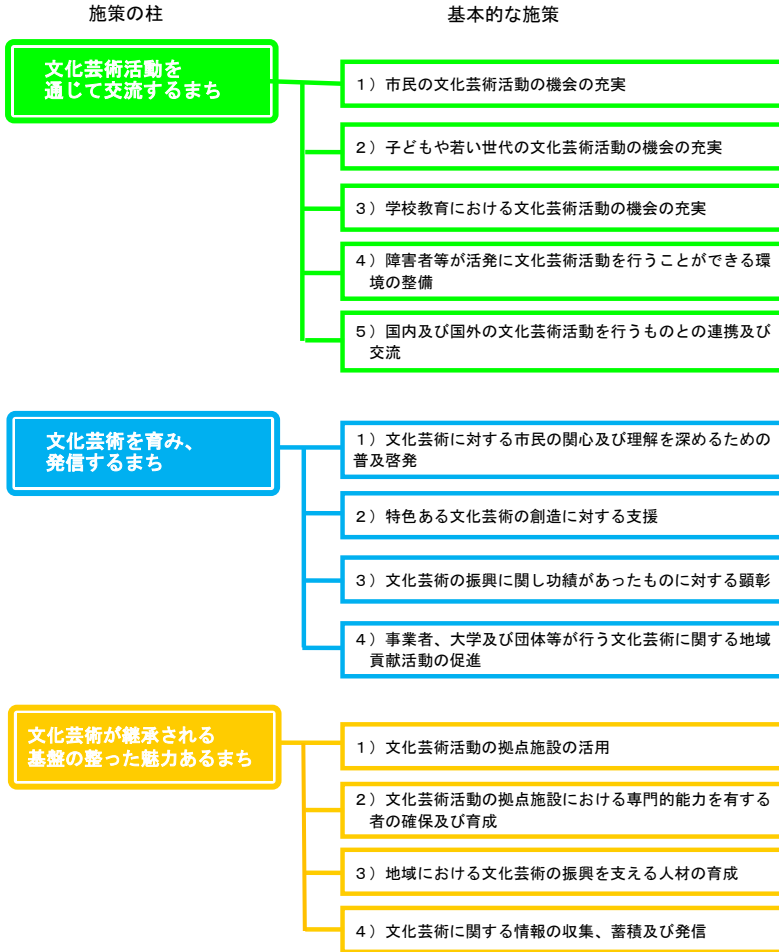


**枚方市文化芸術振興計画【改訂版】の進捗状況
(令和6年度分総括)**



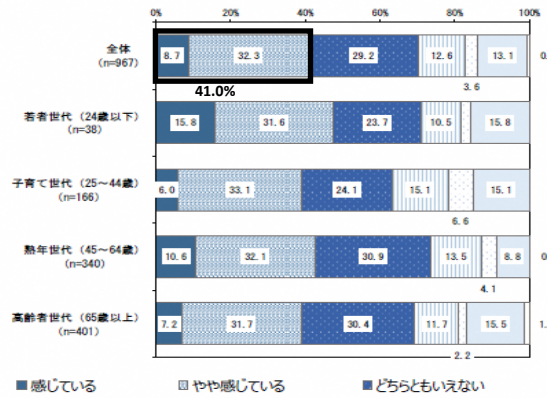
施策の柱



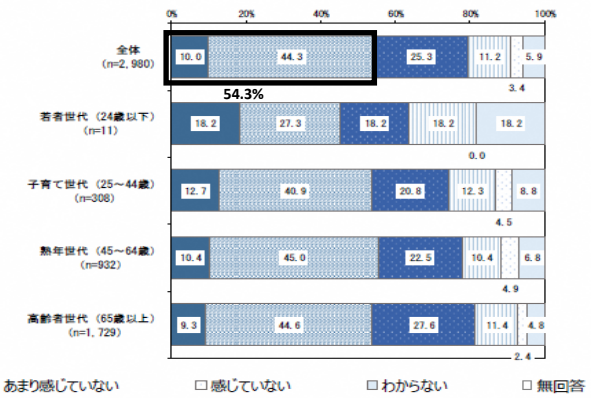
現状

施策指標	文化芸術に親しめる環境が整っていると答えた市民の割合
令和6年度	54.3%
令和5年度	41.0%

令和5年度



令和6年度



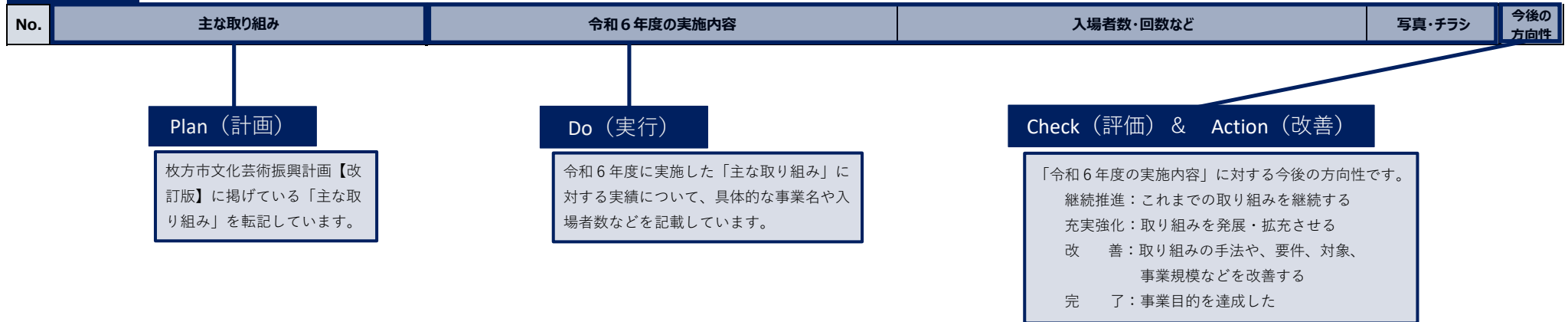
進捗報告表の見方

- 13の「基本的な施策」にかかる「主な取り組み」について、下記のようにPDCAサイクルによる計画の進捗を確認します。
- 「基本的な施策」1つにつき1枚にまとめています。
- 3つの「施策の柱」ごとに総括を記載しています。

■ 施策の柱 I 文化芸術活動を通じて交流するまち

基本的な施策 1. 市民の文化芸術活動の機会の充実

取り組みの方向性 ■ 市民の積極的な文化芸術活動を支援し、世代間や地域社会での交流を深め、活動の場を広げます。









施策の柱 総括



■ 施策の柱 I 文化芸術活動を通じて交流するまち

基本的な施策 1. 市民の文化芸術活動の機会の充実






取り組みの方向性 ■ 市民の積極的な文化芸術活動を支援し、世代間や地域社会での交流を深め、活動の場を広げます。

No.	主な取り組み	令和6年度の実施内容	入場者数・回数など	写真・チラシ	今後の方向性
1	文化芸術活動の拠点施設（総合文化芸術センター）での優れた文化芸術事業の実施	総合文化芸術センターにおいて事業を実施し、文化芸術の鑑賞や創造・普及活動、人々の交流・賑わいを創出する。	総合文化芸術センター来館者数 429,460人		継続 推進
2	総合文化芸術センターでのデジタル技術を活用した文化芸術事業の実施	手元のサンドアートをスクリーンに映し出し、ピアノの生演奏に合わせて物語が展開していくライブパフォーマンスを実施した。若年層に対して文化芸術への興味を引き出せるようなデジタル技術を活用した事業の展開をしていく必要がある。	ワンコインコンサート vol.8ピアノと砂のファンタジー「アラビアンナイト」～ピアノとサンドアートでつづる幻想絵巻～ 入場者数1,349人		充実 強化
3	地域の文化芸術活動を支える施設（生涯学習市民センターなど）での地域の特性に応じた文化芸術事業の実施	市内の各生涯学習市民センターで、地域の市民が参画している活動委員会などによる多彩な文化芸術事業を実施した。	生涯学習市民センター（7カ所）における活動委員会事業 ・年間事業数 73本 ・参加延べ人数 18,382人		継続 推進
4	市民が創作・練習し、発表する場の提供や発表に伴う相談・助言などのサポートの実施	総合文化芸術センターにおいて、施設見学会と舞台担当者による舞台利用個別コンサルティングを行ったほか、利用予定者と利用希望者にホールの概要を説明する下見会や舞台打合せ、相談対応を実施した。	・舞台利用相談会 4回 ・舞台利用個別コンサルティング 1回 ・下見会 71回		継続 推進
5	文化芸術の交流促進に関する支援	世代間交流と他ジャンルとの相互交流を促進するため、合唱・吹奏楽・舞踊など個別で開催していたイベントを総合文化芸術センターでの「市民総合文化祭」に集約して開催した。	市民総合文化祭 入場者数 【展示部門】1,164人 【短歌・俳句部門】549人 【舞台部門】舞踊393人 演劇386人 器楽・声楽635人 落語194人 アラカルト226人 合唱1,656人 吹奏楽1,338人 三曲361人 ※人形劇は台風のため中止		継続 推進
6	文化芸術振興に係る基金制度の活用	こどもの夢を育む教育・子育てに係る事業を支援する「枚方市こども夢基金」を活用した文化芸術事業を実施したほか、美術施策の充実を図る「植村猛アート基金」を活用し、大阪美術学校創立100年を記念した事業を実施した。	こども夢基金活用事業 ・コミュニケーション授業 ・小学校アウトリーチ事業 ・中学校オーケストラ鑑賞事業 ・枚方ジュニア・ウィンド・オーケストラ事業 植村猛アート基金活用事業 ・大阪美術学校100年記念事業 入場者数 906人		継続 推進

基本的な施策 2. 子どもや若い世代の文化芸術活動の機会の充実

取り組みの方向性

- 子どもや若い世代が優れた文化芸術を鑑賞し、体験する機会の充実により、子どもたちの感性や想像力を育みます。
- 子どもや若い世代が自ら積極的に文化芸術を創作し、発表する機会の充実を図ることで、子どもたちのやる気や励みにつなげます。
- 子どもや若い世代を対象とした市民の文化芸術に関する活動を支援します。





No.	主な取り組み	令和6年度の実施内容	入場者数・回数など	写真・チラシ	今後の方向性
1	子どもや若い世代を対象にした鑑賞事業や体験・参加型ワークショップ事業の実施	市立小学校で平田オリザ氏による小学6年生を対象にした演劇ワークショップ「コミュニケーション授業」を実施したほか、総合文化芸術センターで佐藤康光九段らプロ棋士が直接指導する「ひらかた将棋イベント」を実施するなどした。	・コミュニケーション授業 市立15小学校6年生 計1,047人 ・ひらかた将棋イベント 50人		継続 推進
2	乳幼児から参加できる文化芸術事業の実施・支援	総合文化芸術センターや生涯学習市民センターで、0歳から入場できる公演等を実施した。	総合文化芸術センターの0歳から入場可能公演 ・音楽の絵本 プリランテ 入場者数1,181人 ・大阪フィルハーモニー交響楽団メンバーによる0歳からの親子クラシックコンサート 楽器体験コーナー 入場者数220人		継続 推進
3	文化芸術公演等における子どもや若い世代に対する料金等の優遇措置	総合文化芸術センターで、文化庁の補助金「劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」を活用して小学生～18歳を無料招待した公演を実施した。	文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業 レ・ヴァン・フランセ 招待人数 170人		充実 強化
4	子どもや若い世代が創作・活動し、その成果を発表する機会の創出	総合文化芸術センターの美術ギャラリーで、小・中・高校生の美術展等を開催した。	参加校数・出展数 ・とびだせ！ひらかた大図鑑 小中学生絵画コンクール 157点 ・枚方市内高校合同美術展 11校 221点 ・高校生書道展 11校 311点 ・北河内ブロック高等学校美術・工芸展 14校 281点		継続 推進
5	子どもや若い世代を対象とした文化芸術事業を実施する団体等への支援	大阪府高等学校演劇研究大会の地区大会及び府大会の会場提供といった支援などを実施した。	・大阪府高等学校演劇研究大会D地区大会 参加校 7校 ・大阪府高等学校演劇研究大会府大会 参加校 12校		継続 推進

■ 施策の柱 I 文化芸術活動を通じて交流するまち

基本的な施策 3. 学校教育における文化芸術活動の機会の充実






取り組みの方向性

- 学校と連携し、文化芸術活動の拠点施設で、優れた文化芸術を鑑賞し、伝統文化等に対する理解を深める機会の充実に取り組みます。
- 学校において、学年に応じた文化芸術に関する体験学習等を実施し、文化芸術教育の充実に取り組みます。
- 芸術家等と学校や学校を支える団体との連携に対し、必要な協力や支援を行います。

No.	主な取り組み	令和6年度の実施内容	入場者数・回数など	写真・チラシ	今後の方向性
1	総合文化芸術センターでの芸術鑑賞会の開催	市内の全19市立中学校の1年生を対象に、総合文化芸術センター大ホールで、連携協定を締結している大阪フィルハーモニー交響楽団によるフルオーケストラ公演を鑑賞する「中学校オーケストラ鑑賞会」を実施した。	中学校オーケストラ鑑賞会 令和7年2月3日(月) (1公演、7校) 2月4日(火) (2公演、12校) 鑑賞者数 2,965人		継続 推進
2	学校へのアウトリーチ公演による鑑賞事業や体験学習の実施	市立小学5・6年生を対象に枚方市アーティストバンクに登録している本市ゆかりの若手アーティストを小学校へ派遣し、音楽や舞踊(ダンス)を実演する「小学校アウトリーチ事業」を実施した。	小学校アウトリーチ事業 実施校 26校 参加人数 3,208人		継続 推進
3	授業等において自ら創作・活動した成果を発表する機会の創出	児童の豊かな情操を養い、市内小学校間の交流を推進するとともに、地域の人々等が音楽に親しむ機会とするため、「小学校合同音楽会」を実施した。	小学校合同音楽会 参加校 45校 参加人数 3,536人		継続 推進
4	芸術家等と学校等との連携による芸術鑑賞会や体験学習の実施に対する連携支援	市内在住・在学の中学1年生～高校3年生を対象に公募を行い、「枚方ジュニア・ウインド・オーケストラ」を結成し、連携協定を締結している大阪フィルハーモニー交響楽団のメンバーらプロの演奏家の指導による、練習・演奏会を開催した。	枚方ジュニア・ウインド・オーケストラ 練習回数 計11回 演奏会 令和7年2月2日(日) 所属メンバー数及び演奏観客数 622人		継続 推進

基本的な施策 4. 障害者等が活発に文化芸術活動を行うことができる環境の整備

取り組みの方向性 ■ 障害・年齢・家庭の状況などの理由により一定の配慮が必要な方に対し、誰もが活発に文化芸術活動を行い、その活動を通じた交流を行うことができる環境を整え、ニーズの把握に努めます。





No.	主な取り組み	令和6年度の実施内容	入場者数・回数など	写真・チラシ	今後の方向性
1	障害・年齢・家庭の状況などの理由により一定の配慮が必要な方が参加しやすい鑑賞事業や体験・参加型ワークショップ事業の実施	ラポールひらかたをメイン会場に総合文化芸術センターの一部施設も活用し、地域のボランティア・福祉団体の活動を披露した「ひらかた社協ふくしフェスティバル」を開催した。	ひらかた社協福祉フェスティバル 参加者数 1,000人		継続 推進
2	福祉施設や病院等へのアウトリーチ事業の実施	市出身の世界的ヴァイオリニストの五嶋みどり氏が理事長を務めるNPO法人「ミュージックシェアリング」との連携事業として、子ども発達支援センターで、サポーターアーティストによるアウトリーチ(楽器指導支援プログラム)を実施した。	ひらかた子ども発達支援センターでのアウトリーチ 年12日間実施		継続 推進
3	障害・年齢・家庭の状況などの理由により一定の配慮が必要な方が自ら創作・活動した成果を発表する機会の創出	総合福祉センターで活動中の団体が日頃の成果を披露する「文化祭」を開催した。	総合福祉センター「文化祭」参加者数 ①展示の部 2,864人 ②発表の部 587人 ③体験の部 328人 ④ロビーコンサート 328人		継続 推進
4	文化施設の状況に応じたバリアフリー化の検討の推進	大・小ホールを身体障害者用車椅子席やバリアフリートイレを設置するなど、バリアフリーに配慮し総合文化芸術センターを整備した。	整備済み		完了
5	総合文化芸術センターにおいて小さな子ども連れの方や障害者が気軽に鑑賞できる諸室や設備の設置	総合文化芸術センターでの公演鑑賞時に使用できるよう、キッズスペース用ジョイントマットを購入した。	キッズスペース用ジョイントマット使用公演 ・大阪フィルハーモニー交響楽団メンバーによる0歳からの親子クラシックコンサート ・市民総合文化祭 人形劇の部 (※台風のため中止)		継続 推進

■ 施策の柱 I 文化芸術活動を通じて交流するまち

基本的な施策 5. 国内及び国外の文化芸術活動を行うものとの連携及び交流

取り組みの方向性

- 他都市の文化施設との連携により創造発信事業や優れた鑑賞事業に取り組み、より効率的、効果的に事業を実施します。
- 様々な分野の文化芸術団体の相互交流を促進します。
- 文化芸術を通じた友好都市をはじめとする他都市との交流に取り組み、市民の国際文化理解や観光の推進につなげます。

No.	主な取り組み	令和6年度の実施内容	入場者数・回数など	写真・チラシ	今後の方向性
1	他都市の文化施設との連携による共同制作・巡回公演等の実施	総合文化芸術センターにおいて、京阪沿線の6市ホールが連携し沿線で活躍している新進クラシック音楽家の発掘・育成を目的とした事業や、岐阜県可児市文化創造センターの巡回演劇公演を実施した。	・京阪フレッシュアーティスト・リレーコンサート 入場者数110人 ・ala Collectionシリーズvol.15「いびしない愛」 入場者数253人		継続推進
2	国内外の優れた芸術家を招聘した文化芸術事業の実施	総合文化芸術センターにおいて、ヴァイオリニストHIMARIや東京シティ・バレエ団、ショパンピアノコンクール3位入賞ピアニスト、劇団四季や俳優・内野聖陽など、国内外の優れた芸術家を招聘した鑑賞事業を実施した。	・HIMARI×吉田恭子 入場者数1,445人 ・東京シティ・バレエ団「白鳥の湖」 入場者数1,140人 ・マルティン・ガルシア・ガルシアピアノ・リサイタル 入場者数875人 ・劇団四季ファミリーミュージカル「ガンバの大冒険」 入場者数1,407人 ・内野聖陽主演「芭蕉通夜舟」 入場者数288人		継続推進
3	市民総合文化祭の開催などによる文化芸術団体相互の交流の促進	合唱・演劇・吹奏楽・人形劇などの各市内文化団体と連携し「市民総合文化祭」を実施した。	参加者団体数等 【展示部門】 絵画55点 書道16点 写真35点 【短歌・俳句部門】 短歌69句 俳句100句 【舞台部門】 舞踊28組 演劇6組 器楽・声楽39組 落語14人 アラカルト11組 合唱51組 吹奏楽21組 三曲15組 ※人形劇は台風のため中止		継続推進
4	国内外の友好都市をはじめとする他都市との音楽や絵画などの文化芸術を通じた相互交流を実施し、市民の国際文化理解や観光を推進	海外友好都市のひとつである上海市長寧区の児童書画を中央図書館で展示し、市と長寧区の友好交流活動を積極的に推進した。	上海市長寧区児童書画展 展示数 100点 来場者数 1,286人		継続推進

施策の柱 I 総括

- ジャンルや世代の偏りがない幅広い事業を実施したことで、総合文化芸術センターへの来館者数も増加していることから、ニーズに沿った事業展開ができていと考えられる。
- 総合文化芸術センターでのデジタル技術を活用した文化芸術事業の実施については、【改訂版】から新設された項目であり、デジタル技術の進化に伴い、新しい鑑賞体験の可能性について引き続き探っていく必要がある。
- 総合文化芸術センターや生涯学習市民センターで子どもや若い世代を対象にした事業を実施しており、豊かな感性や創造性、人間性を育むことに寄与できている。
- 子どもや若い世代が創作・活動し、その成果を発表する機会の創出については、児童・生徒同士の作品交流になり作成意欲や自己肯定感の向上につながっている。また、保護者等市民も多く来場し、学校美術教育への理解を深める取り組みとなっている。教育委員会などと連携し、引き続き取り組んでいく。
- 豊かな感性や創造性・人間性を育む大切な時期に、優れた文化芸術に触れることは重要であるため、文化芸術公演等における子どもや若い世代に対する料金等の優遇措置を拡充することで子どもや若い世代の文化芸術活動の機会の充実に努める。
- 総合文化芸術センターにおいて、小さな子ども連れの方も気軽に鑑賞できるよう、マットスペースとして活用できるジョイントマットを購入し、公演時前方にマット席を設置した演奏会を開催した。今後もニーズの把握に努めながら設備の充実を図る。
- 「市民総合文化祭」の開催により、生涯学習市民センターなどで行われている市民の日頃の文化芸術活動の発表機会の提供やジャンルを超えた交流、賑わいを創出できている。また、文化芸術団体相互の交流促進にもつながっている。

■ 施策の柱Ⅱ 文化芸術を育み、発信するまち

基本的な施策 1. 文化芸術に対する市民の関心及び理解を深めるための普及啓発

取り組みの方向性





- 気軽に参加できる様々な文化芸術を鑑賞する機会の充実を図り、市民の観たい、聴きたい気持ちに働きかけます。
- 公共施設などにおけるアウトリーチ活動により、意図せず文化芸術に触れ、楽しむことができる空間を作ります。
- 文化芸術を学び、体感する機会を提供し、文化芸術に対する理解を深めます。

No.	主な取り組み	令和6年度の実施内容	入場者数・回数など	写真・チラシ	今後の方向性
1	総合文化芸術センターで気軽に参加できる多彩なジャンルの文化芸術事業の実施	総合文化芸術センターにおいて一流プロアーティストの演奏を「ランチタイム」に「1時間」「500円」で気軽に楽しんでいただけるワンコインコンサートを継続して実施している。	ワンコインコンサート Vol.7 中川英二郎×本田雅人 Super Duo 入場者数1,446人 Vol.8 ピアノと砂のファンタジー「アラビアンナイト」広瀬悦子（ピアノ）、伊藤花りん（サンドアート） 入場者数1,349人 Vol.9 徳永兄弟 NEO FLAMENCO フラメンコギター&ダンス・パルマ 入場者数1,431人		継続 推進
2	地域の文化芸術活動を支える施設（生涯学習市民センターなど）で気軽に参加できる文化芸術事業の実施	市民が気軽に集える生涯学習市民センターで「元宝塚歌劇団 美苑えりかさんと歌うときめきのすみれボイスレッスン」や「地域コンサートシリーズ つだスプリングコンサート」などを実施したほか、図書館でも制作ワークショップ等を実施した。また、令和6年9月、枚方市駅直結複合施設・ステーションヒル枚方の5階に開館した「生涯学習交流センター」において立地を生かした事業展開を行うなどしたことで、ビジネス層など新たな利用者も増加している。	生涯学習市民センター7館 ・指定管理者自主事業 参加延人数 8,907人 ・活動委員会事業 参加延べ人数23,210人		継続 推進
3	市民ニーズに応じた参加しやすい時間設定や料金設定	連携協定を締結している大阪フィルハーモニー交響楽団の枚方公演では特にチケット価格を抑制した公演を実施したほか、公演日時についてはなるべく土・日曜、祝日の昼公演となるようコンサートを実施した。	大阪フィルハーモニー交響楽団 枚方公演（年2回） チケット価格 A席 3,500円 B席 1,000円 ・9/28 高関健（指揮）×小林愛実（ピアノ） 入場者数1,310人 ・2/9 尾高忠明（指揮）×「運命」 入場者数1,450人		継続 推進
4	公共施設のロビーなどにおけるコンサート等の実施	中央図書館1階正面玄関ロビーで年2回、市アーティストバンク登録アーティストによる無料ライブラリーコンサートを実施している。	ライブラリーコンサート出演アーティスト ・Rintロンボーンカルテット（トロンボーン） ・上敷領 藍子 × 福代 晴香（ヴァイオリン）		継続 推進
5	解説付きの美術鑑賞や音楽鑑賞等の実施	東京の美術館スタッフがファンリレーターとして参加した対話型鑑賞会「アートでおしゃべり」を実施したほか、ピアニストと調律師、センター音響設計担当者3者による解説付きイベント「ピアノと大ホールの音の響きのヒミツに迫るトーク&ミニコンサート」を開催した。	・アートでおしゃべり 参加者数52人 ・ピアノと大ホールの音の響きのヒミツに迫るトーク&ミニコンサート 入場者数120人		継続 推進
6	初心者向けの文化芸術に関する講座等の実施	生涯学習市民センターにおいて、美術関連実技講座や人形劇講座などを開催した。	・人形劇講座 14回 参加者数4人 ・美術関係講座 15回 参加者数49人		継続 推進
7	芸術家による体験・参加型ワークショップの実施	プロの芸術家などによるダンスや切り絵といったジャンルのワークショップを実施した。	・演劇のトビラワークショップVol.4 パントマイムに挑戦しよう 参加者数53人 ・たけうちひろの切り絵ワークショップ 参加者数25人		継続 推進

■ 施策の柱Ⅱ 文化芸術を育み、発信するまち



基本的な施策 2. 特色ある文化芸術の創造に対する支援

取り組みの方向性 ■ 特色ある文化芸術の創造を支援することで、まちの魅力を創出し、市民のまちへの愛着を深めます。

No.	主な取り組み	令和6年度の実施内容	入場者数・回数など	写真・チラシ	今後の方向性
1	本市の観光にも資する地域資源を題材にした文化芸術事業の推進	市の歴史資料館である枚方宿鍵屋資料館や国内でも数少ない鋳物資料館である旧田中家鋳物民俗資料館等で施設の特徴を活かしたイベントを実施したほか、市の花である菊がまちを彩る「ひらかた菊フェスティバル」を実施した。	・枚方宿鍵屋資料館 伝統文化に関する講座やイベント 13回 ・旧田中家鋳物民俗資料館 31講座 ・ひらかた菊フェスティバル関連イベント 参加人数 延約30,000人		継続推進
2	本市の特色である活発な文化芸術活動をさらに発展させるための取り組みに対する支援	枚方人形劇連絡会と市、牧野生涯学習市民センター指定管理者の3者で組織した実行委員会が「ひらかた人形劇フェスティバル」を実施した。	・人形劇フェスティバル 参加団体 27団体 入場者数 1,189人		継続推進
3	本市の新たな魅力となる文化芸術の創造に対する支援	芸術家と市民がともに舞台公演を創り上げる「枚方シティオペラ」や「枚方市民メサイア公演」を実施した。	・枚方市民メサイア公演 入場者数1,200人 ・シティオペラ演目 ガラ・コンサート 入場者数 744人		継続推進
4	オルタナティブスペース（施設本来の目的ではなく、文化芸術のために使用するスペース）を活用した創造に対する支援	市役所や津田支所などで市内遺跡の遺物等をしているほか、市役所庁舎内にも市所蔵作品の展示「Art Exhibition」を行った。	Art Exhibitionにおける展示作家 ・矢野橋村 ・清水要樹 ・齋藤与里 ・玉本奈々 ・直原玉青 ・高橋重夫		継続推進

基本的な施策 3. 文化芸術の振興に関し功績があったものに対する顕彰

取り組みの方向性 ■文化芸術に関し功績があった人や優れた文化芸術活動を行っている芸術家に対して顕彰を行い、奨励するとともに、その活動を広く発信します。






No.	主な取り組み	令和6年度の実施内容	入場者数・回数など	写真・チラシ	今後の方向性
1	市民文化賞による顕彰の推進	市民の文化等の振興を図ることを目的に、全国規模の大会やコンクールで優秀な成績をおさめられた方々に「市民文化賞」を贈呈した。	関西創価小学校 全国書きぞめ作品展覧会・小学校団体の部で全国優勝		継続 推進
2	功労賞や奨励賞などの新たな顕彰制度の創設	功労賞・奨励賞などといった芸術家の励みになるような顕彰制度の新設に向けての課題整理を行う。	-	-	改善
3	受賞者に発表する機会を提供するなど、成果の披露等を通じた市民への還元	市展市長賞受賞者の作品を美術ギャラリー前の展示スペースに展示した。また、枚方市内高校合同美術展の市長賞受賞作品を市長応接室に展示した。	市展市長賞受賞者 5名 (日本画、洋画・版画、彫塑・立体、工芸、写真) ※書は該当作品なし		継続 推進

■ 施策の柱Ⅱ 文化芸術を育み、発信するまち

基本的な施策 4. 事業者、大学及び団体等が行う文化芸術に関する地域貢献活動の促進

取り組みの方向性

- 事業者や大学、団体等が行う文化芸術活動支援（メセナ活動）に対する機運を高めます。
- 事業者や大学、団体等と連携し、新たな魅力づくりや魅力ある文化芸術活動に取り組みます。
- 学園都市ひらかたの特色を活かし、市と大学が連携した取り組みを推進します。

No.	主な取り組み	令和6年度の実施内容	入場者数・回数など	写真・チラシ	今後の方向性
1	事業者や大学、団体等による文化芸術活動支援への働きかけ	総合文化芸術センター、南部生涯学習市民センターにネーミングライツを導入している。ネーミングライツ料の一部は施設の維持管理に充てられている。	総合文化芸術センター本館 大・小ホール 学校法人関西医科大学 イベントホール・美術ギャラリー 枚方信用金庫 総合文化芸術センター別館 メセナホール 誠信建設工業株式会社 南部生涯学習市民センター イベントホール 株式会社さくら		継続 推進
2	事業者や大学、団体等による文化芸術活動支援に関する情報提供	枚方市アーティストバンク登録アーティストの情報を市ホームページに掲載し、アーティストへの出演依頼希望があればマッチングを行い、アーティストを紹介した。	マッチング件数 3件 ・中央図書館平和ライブラリーコンサート ・中央図書館クリスマスライブラリーコンサート ・第76回枚方市「はたちのついで」		継続 推進
3	市と事業者、大学、団体等と連携した文化芸術事業の実施	総合文化芸術センターにおいてネーミングライツパートナーメリットを活用した地域の文化芸術振興事業を実施した。また、京阪ホールディングス株式会社との連携事業「京阪沿線魅力再発見ぶらり街道めぐり」や枚方T-SITEとの連携事業「星・導・夜」を実施した。	・第4回ひらしん美術展 高畑雅一40年の軌跡～創作40周年記念展覧会～（ネーミングライツパートナーメリット活用事業） ・京阪沿線魅力再発見ぶらり街道めぐり ～祈りの路編～ 参加者数 70人 ・星・導・夜（春・秋2回開催）合計参加者数 1,243人		継続 推進
4	民間の専門人材等と連携したアートマネジメント等の人材の育成	総合文化芸術センターの指定管理者において、企画やマーケティング、舞台技術などを担う人材の育成のための研修を実施した。	・全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会（年1回） ・企画制作担当者研修（3回）		継続 推進
5	市と市内の大学が連携した文化芸術事業の実施	学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市と大学が連携し、市民向け講座「ひらかた市民大学」「子ども大学探検隊」を開催した。	連携大学（市内5大学） ・市民大学（5回開催）参加者人数 合計231人 関西外国語大学で「林芙美子『浮雲』を読む」ほか ・子ども大学（5回開催）参加者人数 合計217人 関西外国語大学で「英語を使ってみよう！ 試してみよう！ ガイダイ・ワールドへいっしょいっしょ！」ほか		継続 推進

施策の柱Ⅱ 総括





- ワンコインコンサートなど低廉な価格の文化芸術事業を開催することで、今まで文化芸術に関心がなかった新たな市民を掘り起こし、裾野を広げる取り組みとなっている。
- 「枚方シティオペラ」や「枚方メサイア公演」において、合唱団を公募し、世界的に活躍する歌手との共演や総合文化芸術センター大ホールでの披露の場をつくることで、合唱・音楽に親しむ市民参加の機会を醸成している。
- 市民文化賞受賞者について、総合文化芸術センターに銘板を設置しているほか、広報ひらかたや市ホームページで紹介するなど、市民文化賞の贈呈を広く発信する取り組みもを行っている。
- 功労賞や奨励賞などの新たな顕彰制度の創設については、対象や基準などの課題整理を引き続き行っていく必要がある。
- ネーミングライツ対象施設は総合文化芸術センターを中心に南部生涯学習市民センターでも展開し、パートナーメリットを活用した事業などを実施している。

■ 施策の柱Ⅲ 文化芸術が継承される基盤の整った魅力あるまち

基本的な施策 1. 文化芸術活動の拠点施設の活用

取り組みの方向性

■ 総合文化芸術センターを文化芸術活動の拠点施設として活用するとともに、鑑賞機会を充実させることで、市内だけではなく国内外から人を集めることで観光分野の拡大にもつなげます。また、生涯学習市民センターなど地域の文化芸術活動を支える施設との連携により効果的な事業運営を行います。

No.	主な取り組み	令和6年度の実施内容	入場者数・回数など	写真・チラシ	今後の方向性
1	総合文化芸術センターを活用した魅力的な事業の推進	話題性のある著名なアーティスト公演や開館後初のバレエ全幕公演をはじめ、市内だけでなく市外からも訪れたいくなるような魅力的で集客率が高い公演や、親子で鑑賞しやすい公演など多彩な事業を実施し、ジャンルや年代の偏りが無い幅広い事業展開を行った。	実施事業本数 83本 事業参加者数 63,989人		継続 推進
2	枚方市駅周辺地域のまちづくりの活性化につながる周辺施設等との連携事業の実施	総合文化芸術センターの公演チケットを提示することで各種サービスを受けられる鑑賞チケットサービスの協力店舗拡大に努めている。	鑑賞チケットサービス 協力店舗 13店		充実 強化
3	総合文化芸術センターと地域の文化芸術活動を支える施設（生涯学習市民センターなど）との連携による効果的な事業の実施	令和6年9月に開館した生涯学習交流センターのオープニング事業で実施した事業に関連する企画を総合文化芸術センターで公演してもらうなど連携した企画で効果的に事業を実施した。また、大阪美術学校創立100年を記念した展示会や関連イベントを総合文化芸術センターと御殿山生涯学習美術センター、枚方宿鍵屋資料館で開催した。	①茂木大輔関係 ・のだめカンタービレ音楽フェス♪（生涯学習交流センター） ・茂木大輔プレミアムコンサート（総合文化芸術センター） ②大阪美術学校関係 ・大大阪モダンイズムと大阪美術学校（総合文化芸術センター） ・大阪美術学校創立100年記念展示会（御殿山生涯学習美術センター） ・大阪美術学校から御殿山生涯学習美術センターへ～その伝統の継承、そしてシン美術学校へ～（枚方宿鍵屋資料館）		継続 推進
4	幅広い市民ニーズに対応した施設運営	総合文化芸術センターにおいて、利用者アンケートや窓口のほかホームページの問い合わせフォームに届いた声や意見を真摯に受け止め、改善できる事項は即座に改善に繋げるなど幅広い市民ニーズに対応した施設運営をおこなっている。	・アンケート等からの改善事例 美術ギャラリーの高所展示作業が可能となるよう、高所作業台を追加購入した。 【参考】総合文化芸術センター利用者アンケート満足度 94.8%		継続 推進

■ 施策の柱Ⅲ 文化芸術が継承される基盤の整った魅力あるまち

基本的な施策 2. 文化芸術活動の拠点施設における専門的能力を有する者の確保及び育成

取り組みの方向性

- 文化芸術活動の拠点施設において、文化芸術事業を行うために必要な専門的能力や知識を有する者の確保・育成に努めます。
- 他都市で優れた施設運営を行う文化施設と連携した研修等の実施により、総合文化芸術センターの運営に携わる職員の資質向上に努めます。

No.	主な取り組み	令和6年度の実施内容	入場者数・回数など	今後の方向性
1	総合文化芸術センターの運営や事業を支える専門性を有する人材の配置	総合文化芸術センターの運営を行う指定管理者において専門性を有する人材を配置している。	<p>【企画制作】方針やニーズに合った事業企画と実施ができる企画制作担当者と、自治体・担当者・聴衆間をつなぎ、事業のクオリティを向上させる判断力・牽引力・交渉力・育成力を備えたチーフを配置。</p> <p>【施設利用】施設利用受付、問い合わせ対応等、貸館業務に対する十分な知識とスキルを兼ね備え、施設の特性を熟知した施設利用担当者と、貸館経験が長く、イレギュラーな問合せなどの対応力や担当者育成ができるチーフを配置。</p> <p>【舞台技術】舞台打合せや利用当日のフォロー、下見対応等、センターの舞台を熟知し、豊富な技術・知識を有したスタッフと管理・育成ができるチーフを配置。</p>	継続 推進
2	将来の施設運営を担う専門性を有する人材の育成とそのノウハウの蓄積	総合文化芸術センターの指定管理者によるスキルアップ研修、接遇力向上研修、コンプライアンスなどの研修を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修（11回） ・接遇力向上研修（1回） ・チームビルディング研修（1回） ・コンプライアンス研修（7回） 	継続 推進
3	他都市の文化施設と連携した相互研修や派遣型研修の実施	総合文化芸術センターの指定管理者において、他都市の文化ホールへの研修に参加している。	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館利用促進会議（1回・山形県山形市やまぎん県民ホール） ・視察研修（1回・茨木市おにくル） 	継続 推進

基本的な施策 3. 地域における文化芸術の振興を支える人材の育成

取り組みの方向性

- 市民と芸術家や文化施設をつなぎ、地域において様々な形で文化芸術の振興を支える人材を育成します。
- 将来を見据えた文化芸術の振興に向け、芸術家を発掘し、育成に関する支援を行います。

No.	主な取り組み	令和6年度の実施内容	入場者数・回数など	写真・チラシ	今後の方向性
1	市民を対象とした人材育成支援講座や体験・参加型ワークショップの開催	総合文化芸術センターや枚方公園青少年センターで高校生を対象にホール職員による実技を中心とした音響・照明講習を行った。	・総合文化芸術センター 大阪府高校演劇D地区大会事前講習(舞台・照明) 参加者数 100人 ・枚方公園青少年センター 音響講習会 (台風により中止) 舞台照明実技講習会 (台風により中止)		継続 推進
2	文化芸術事業を支援する市民等の育成	市民総合文化祭において、参加団体に運営業務の一部に参加してもらうことにより、育成につなげている。	【協力団体】 枚方演劇連盟 枚方演奏家協会 枚方演奏家クラブ 枚方合唱協会 枚方三曲協会 枚方市舞踊協会 枚方吹奏楽協会 枚方人形劇連絡会 落語サークルなぎさの会 ※人形劇は台風のため中止		継続 推進
3	人材育成と連動した活躍の場の創出	市民の文化芸術に係る企画事業を幅広く支援する制度である「市民企画イベント促進事業」として、事業に要する経費に対する補助等の支援を行っている。	補助対象事業数 4件 参加人数 2,169人		継続 推進
4	市内在住や枚方市ゆかりの芸術家の活動調査研究による情報の蓄積と活用	市にゆかりのある若手芸術家をアーティストバンクに登録し、事業などに活用した。	アーティストバンク登録者数(令和7年3月現在) ピアノ・エレクトーン 2団体・17個人 弦楽器 6団体・4個人 管楽器・打楽器 14団体・1個人 声楽 1団体・2個人 日本舞踊 1個人 ダンス 2団体・2個人		継続 推進
5	市内在住芸術家の公演や展覧会の開催など発表の機会の提供	総合文化芸術センターの施設を利用して、市にゆかりのある若手芸術家の育成支援「アーツプラウト(ビジュアルアーツ・パフォーミングアーツ)」を実施した。	パフォーミングアーツ ・Duo Wiegeヴァイオリン&ピアノコンサート ・堀怜子ピアノ・リサイタル ・木の音felice マリンバとピアノが誘う四季の旅 ・épililas ソプラノ&ピアノコンサート ビジュアルアーツ ・画業25周年 玉本奈々 法王/LUNA 展		継続 推進
6	若手芸術家の施設使用時における優遇措置の検討	生涯学習市民センターにおいて、半数以上が18歳以下で構成される団体の利用について施設使用料を全額免除している。	ID付与団体数 子ども51団体		継続 推進




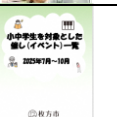



■ 施策の柱Ⅲ 文化芸術が継承される基盤の整った魅力あるまち

基本的な施策

4. 文化芸術に関する情報の収集、蓄積及び発信

取り組みの方向性

- 文化芸術に関する各種情報を積極的に発信し、市民や文化芸術団体とそれらの情報を共有します。
- 本市で培われた文化芸術や本市ゆかりの美術作品等を次世代へ引き継ぐという観点を踏まえ、継続的な研究・保存・公開に取り組みます。
- 市民ニーズや社会情勢に応じた多様な情報手段により、効果的に情報を届けます。

No.	主な取り組み	令和6年度の実施内容	入場者数・回数など	写真・チラシ	今後の方向性
1	本市ゆかりの美術作品や関連資料の研究・保存・公開	総合文化芸術センターの美術ギャラリー、御殿山生涯学習美術センター、市役所別館において市所蔵美術作品を公開・展示。	総合文化芸術センター8ターム 御殿山生涯学習美術センター6ターム 市役所別館1階 7ターム		継続 推進
2	各種情報（コンサートや展覧会の開催情報など文化芸術活動に役立つ情報等）や作品・関連資料のアーカイブ化と活用	総合文化芸術センターでの催しは情報誌「H-Arts」を発行し、年間ラインナップ等を掲載し、情報の集約をおこなっている。また、ホームページ上でも情報を蓄積しており、過去の公演を検索できる状態にある。	「H-Arts」発行回数 年4回		継続 推進
3	市民や文化芸術団体等からの情報収集や情報交換による共有化	各生涯学習市民センターで毎月センターだよりを発行している。また、事業の主催者より情報発信の依頼を受け、配信やチラシの配架等を行っている。	生涯学習市民センターだより発行状況 8館 月1回		継続 推進
4	文化芸術に関するポータルサイト（様々な情報を入手できる入口となるウェブサイト）の整備・発信	市役所各部署で実施している小中学生を対象としたイベントや講座等の取り組みを集約し、市ホームページ等で子どもたちに伝わりやすい内容で情報発信することを検討した。	※令和7年度に小中学生を対象とした催し(イベント)一覧を市ホームページと児童生徒タブレットで発信		継続 推進
5	広報ひらかた、チラシ、ポスターなど紙媒体の活用	広報ひらかたで毎月総合文化芸術センターの催事情報を特集ページで発信している。また、年間ラインナップを掲載したセンター情報誌「H-Arts」を年1回、広報ひらかたに挟み込む形で全戸配布している。	広報発行部数（令和6年4月号） 19万700部		継続 推進
6	ホームページ、X（旧ツイッター）、フェイスブックなど多様な情報発信ツールの活用	総合文化芸術センターや各生涯学習市民センターのホームページやX等で積極的に情報発信を行っている。また、総合文化芸術センターの先行会員限定メルマガの配信も行っている。	・市公式SNSフォロワー数（令和7年3月時点） LINE 99,947人 X 16,714人 Facebook 5,180人 ・総合文化芸術センター 先行会員向けメルマガ配信 34回 先行会員数 25,364人（令和7年3月時点）		継続 推進
7	デジタル技術の進展に応じた多様な情報発信手段の活用	市立小中学生の保護者向けアプリを活用し、総合文化芸術センター等の各種イベント開催情報を周知している。さらに発信件数を増やしていく必要がある。	市立小中学校へのタブレット配信回数（総合文化芸術センター分） ・恐電ラボ！キングオブハンターズ ・H-Artsフェスタ など計4件		充実 強化

施策のⅢ 総括

- 文化芸術活動の拠点施設である総合文化芸術センターで国内外から著名なアーティストを招聘し音楽事業を実施したことで、市民はもちろん市外からの来場者へもセンターの魅力を伝えることができ、シビックプライドを醸成できた。
- 枚方市駅周辺地域のまちづくりの活性化につながる周辺施設等との連携については、センターの立地条件を生かし、鑑賞チケットサービスの協力店のさらなる拡充に取り組んでいく。
- 総合文化芸術センターにおける専門的能力を有する者の確保及び育成については、今後も時流や市民ニーズを捉えた企画・施・舞台スタッフの力量向上に資するものを積極的に受講し、指定管理者職員の資質向上に努める。
- 地域における文化芸術の振興を支える人材の育成については、講習会の実施や発表の機会を提供するなどすることで支援を行った。今後も継続して育成に向けた取り組みを進めていく。
- 情報発信については、市公式SNS発信後に総合文化芸術センターの券売が動くなどの反応が確認されていることから、今後もタイミングや手法を見極めながら多様な情報発信ツールを活用していく必要がある。また、今後も市役所内での各種新規アプリの導入などの動向を注視しながら、目的に合わせた情報発信手段を検討していく必要がある。